馬　耳　東　風

「おお　これは見事だ！」思わず声にした．新鮮な花々が出迎えてくれた．「きょうは，花の日です．人生の花であり，希望の印である子ども達が祝福されますように」とカードに書かれている．庭などの花を持ち寄って花束を作り，日頃お世話になっている方々や福祉施設へ届け，感謝の気持ちを表すのだという．幼稚園の愛らしい小さな紳士淑女の社会参加教育である．福祉施設の訪問では，お年寄りの皆さんが笑顔と拍手で迎え入れ，子ども達はため息の出るような新鮮な体験をすることだろう．園で飼育する動物達に微力ながら関わることから，里山を背にした小さな診療所にまで届けて頂いた．訪問診療時に，取り囲んで離れない園児達の好奇心に満ちた驚きの目や「なにやってんの」とか「どうしたの」とかの屈託のない語りかけを思い出してしまう．カウンターに飾り，しばし花々を見詰めた．個性豊かな輝きが，十人十色のあどけない素顔と重なり，形も色も香りも一層豊かに感じられ実に幸せな気分になった．

「命の教育」が叫ばれて久しい．学校飼育動物に獣医師が能動的に参画し，現場教育のお手伝いをさせて頂いてきた．学校の動物飼育体験が，「命の教育・思いやりの教育」などの「心の教育」に有用であると客観的に裏付けされ，学校保健法の枠を超えた取り組みで学校獣医師の制度化に踏み切こんだ事例もある．日獣委員会報告は「幼少期に動物に愛情をかけ，大切な存在として意識してこそ，死の悲しみや命の尊さを理解できるようになる」としている．一方，ゆとり教育は授業時間の短縮を招き，国際学力との比較から学力の低下が論じられ脱ゆとり教育へと舵を切った．動物の飼育は，休みの無い連続の世話が必要である．小学校では飼育委員会の子ども達が，当番を作り面倒を見ていることが多い．幼稚園や保育所では先生方の手を煩わせるが，学校の体験学習で飼育か，栽培かという選択だと栽培系へ傾くようだ．特に鳥インフルエンザが問題化した頃から，鳥類の飼育は敬遠傾向になり，キジ科は極端に減少した．ウサギ舎はともかく鶏舎は施錠して隔離され，誰でも入って触れる環境は減ってしまった．有名な教育家ペスタロッチは子どもの自発的活動を重視する直感的方法を唱導し，社会改革は教育によってなされると主張，世界最初の幼稚園を創設したドイツの教育家フレーベルに引き継がれてゆく．遊具を使った児童の遊戯・作業を通じて個人的要求を社会的に方向づけ，生活即教育の立場をとり，子どもの自己活動を尊重した．逃げ回るニワトリを追い駆け，ヤギの角に触れ，ウサギを抱きしめ，温もりと鼓動を聞く．鳥の飛ぶ姿と声を聞き，どう生きるか愛育行動も体験的に学ぶ．好評の話題映画「夢は牛のお医者さん」のように，素直な熱い視線で動物と触れ合い共生し，体験しながら心を磨き，子どもの誰もが動物を心から相棒として触れ合える環境づくりに，一層知恵を絞りたい昨今である．

（柏）